

しまね いきいきねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<https://www.teiju.or.jp/>

2020

1月号 Vol.141



今月の見どころ

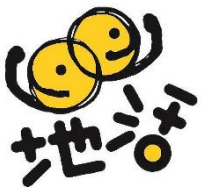
P1. 「地活っちゃんが行く！」 どうすれば記事になる！？
記者の立場を考えながら「プレスリリース」してみよう！

P2. 和歌最終審査結果、NPO 事務力検定合格者の集い
しまね田舎ツーリズムレポート他

P3. 助成金・イベント情報

P4. 島根で頑張る人

田楽荘 (だらくそう) 白山洋光さん 里香さん



第42回
っちゃん
がいく！

＼ どうすれば、記事になる！？ ／
記者の立場を考えながら「プレスリリース」してみよう！



小さな活動やイベントであっても、新聞や雑誌にニュースとして取り上げられれば、団体の存在や活動を多くの人に知ってもらうことができます。でも、「プレスリリース」しているのに、なぜ、マスコミにとりあげられないの？と感じている団体も多いはず。どのようなプレスリリースが、記者の目に留まるのか？今回は『元記者に教わるプレスリリースセミナー初級』の中で話された、プレスリリースのコツと、すぐに役立つヒントの一部をご紹介します。是非ご活用ください。



★プレスリリースのヒント★

記者目線で

- ・社会に役立つ情報を提供しているか？
- ・今のトレンド（時流）、社会課題に沿っているか？
- ・読者が読んで感動するネタか？（ストーリー性は？）
- ・誰にメリットがある情報か？一方向的な宣伝は×

思いは伝わる？共感できる？

- ・その活動に愛と情熱があるか？
- ※記者は挑戦する人々の思いを伝えたいと思っているので、取り上げたいような「面白いこと」を考え、熱意を込めて記者に伝えましょう！

伝えやすいリリースにするには…！

- ・A4用紙1枚に要点がまとめられているか？
- ・キャッチーな見出しをつける。
タイトルは重要（フォントやサイズを変えるなど見せ方も）
- ・趣旨を明確に。（この活動により、どんな社会課題に目を向け、どんな良いことがあるか）
- ・写真をのせる。
- ・連絡が取れる問合せ先をのせる。

★プレスリリース（投げ込み）してみよう！

行政機関（県庁や市役所）の記者クラブ（記者室）に、プレスリリース20枚持参し、加盟報道各社のボックス（棚）に投げ込みます。

※タイミングは、できれば午前中がおすすめ！

報道支局に直接プレスリリース持ち込みも可能です。

ここがポイント！



講師：森田一平 氏

まず、新聞記者の生態を知って記者の立場に立って考えると、「書いてもらう」ではなく、「書きたい」と思ってもらえるプレスリリースに！

記者が取り上げたいような活動や思いを、しっかり伝えよう！

参加者の声（感想）

- 記者の方の時間の使い方、考え方をすることで、より書かれるプレスリリースを作ることができると思った！
- 実際のプレスリリースの例を見て、比較して考えることができた。具体的な実践が思い浮かんで参考になった。
- プレスリリースを読む側の生態や考え方を知ることができて、記者や読者の心を動かすものを作りたいと思った。
- まずはボックス（記者クラブ）に入れてみようと思う！

●簡潔に物事を伝えることは大切だが、担当者の熱も必要なのだと考えさせられた。



32名参加
(アンケートの中から抜粋)



“元記者に教わるプレスリリースセミナー初級”
11月29日（金）出雲文化伝承館にて開催しました！



“田舎暮らしはかっこいい！”和歌 審査結果！

12月7日（土）に松江テルサ1階のテルサホールで開催された「第5回“田舎暮らしはかっこいい！”和歌募集」の最終審査会及び表彰式。最終審査会に進んだ9名のうち、8名によるパフォーマンスが行われました。個性溢れる想いのこもった発表の数々に、観客の皆さんから笑いと拍手がおこっていました。発表者の皆さま、ご来場いただいた皆さま、そして、ご応募いただいた皆さま、本当にありがとうございました！！作品と結果は以下の通りです。



【最優秀賞】

丹精の西瓜 タヌキが食い荒らす まあいいだわい
孫はまた来る
島根県知夫村 林 正己 さん

【優秀賞】

広い背を 追ってこの手で 海を漕ぎ 未だ見ぬ果てと
紡ぐ人の輪
島根県隠岐の島町 森山 敬介 さん

宍道湖の夕日を背中にペダル漕ぐ向かい風には稲穂の香り
島根県松江市 木原 奨郷 さん

【特別賞・秀作】

芋の蔓 カー杯 引っ張った 芋と一緒に 妹釣れた
三重県津市 宮口 紗良 さん

【パフォーマンス賞・秀作】

人生の 全てをかけて 安来節 島根に骨を
うずめる覚悟で！
島根県松江市 野島 優子 さん

【秀作】

幾重にも ハレの日ケの日 記憶する 古き家にて
暮らし継ぎゆく
宮崎県都城市 池田 ゆかり さん

いっばしの農業女子のいでたちの私の長靴還暦の赤
山口県光市 瀬戸内 光 さん

雨風ト 暑サニ負ケヌ 身体モチ 欲ハアルケド
賢治ヲ気取ル
滋賀県草津市 藤田 毅 さん

植林を背負いて生きる夫の目に夢がきらめき会話が弾む
広島県北広島町 小川 チズエ さん



作品は『田舎暮らしの本3月号』に掲載される予定です。皆さま、おめでとうございます♪



しまね田舎ツーリズム県内研修会 開催！

レポート

12月4日、雲南市の入間交流センターで「ゆべし作り体験」を行い、23名の参加がありました。美都町特産のゆずを使った「ゆず味噌」「ゆべし」などを一緒に作りました。講師は料理研究家でしまね田舎ツーリズム実践者の堀晤夫さん。参加者から「新しいレシピ（味）を知ることができて良かった」と大好評でした。



地域づくり応援助成事業公開審査会

団体のプレゼンテーションはどなたでもご覧いただけますので、ぜひ皆さまお越しください。

※申込み不要、出入り自由

令和2年1月22日（水）
松江テルサ4階大会議室にて

NPO事務力検定合格者の集い 開催！

レポート

平成26年度から実施しているNPO事務力検定も今年で6年目を迎え、島根県内の初級合格者が77名となりました！NPOで日々奮闘されている皆さまと集い、交流できる場として開催しました。

まず合格証書の授与の後、自己紹介、特別ゲスト森田一平さんによる「関係人口ってなんだろう！？」のお話を聞きながら、参加者同士で交流を深めました。日頃関わりのない団体同士が活動の内容や悩みを共有する場にもなりました。



<NPO事務力検定とは？>

NPO法人に必要な、経理、登記、労務、所轄庁手続きと多岐にわたる事務手続きについて、その理解度を問う日本で唯一のNPO法人の事務に関する検定です。これまで全国34都道府県で開催され、1441名が受験し1112名が合格（合格率77.17%）。

今月の和歌

父と母 並んで歩いた 畦道を 娘を抱いた 夫と歩く

(千葉県流山市 高橋 陽さん)

第4回農業・農村はかっこいい！和歌募集 入選作品



 <h2>2020 年度 住まいとコミュニティづくり活動助成</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月8日(水)必着 ■対象：営利を目的としない民間団体 ■対象事業：社会のニーズに対応した地域活動、地域環境の保全と向上、地域コミュニティの創造・活性化、安心安全に暮らせる地域の実現、その他豊かな住環境の実現に繋がる活動 ■助成金額：1件あたり120万円以内 ●問合せ先：(一財)ハウジングアンドコミュニティ財団(助成係) TEL:03-6453-9213 FAX:03-6453-9214 https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4177 	 <h2>2020 年度 「未来につなぐふるさと基金」</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月10日(金) ■対象：NPO法人、一般法人、公益法人、任意団体などの市民活動団体 ■対象事業：生物多様性の大切さを伝える活動を応援。生物多様性の保全・啓発を目的としたMY行動宣言につながる次のいずれかに該当する、市民参加型プログラム ①【食べる】②【ふれる】③【つたえる】④【まもる】 ■助成金額：1団体50万円上限 ※助成金以外の支援提供もあり ●問合せ先：(公財)パブリックリソース財団 事務局(担当：田口) TEL:03-5540-6256 FAX:03-5540-1030 https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4174
 <h2>家族の思い出 エッセイ募集</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月10日(金) ■資格：島根県在住の方 ■内容：テーマ「心に残る、家族の思い出」文章(400~600字) ■賞と商品：県民会議会長賞1作品:賞状、QUOカード(1万円分)「家族の日」賞2作品:賞状、QUOカード(5千円分)しまニッコ賞3作品:賞状、QUOカード(3千円分)入賞:数作品、QUOカード(1千円分) ●問合せ先：青少年育成島根県民会議事務局 TEL:0852-22-6255 https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4176 	 <h2>2020 年度 公益信託しまね女性ファンド助成</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月15日(水) ■対象：島根県の女性たちが中心となって活動している民間の団体やグループ(10名以上の構成員で半数以上が女性) ■対象事業：県内の女性たちが自主的・主体的に企画実施する事業 ■助成金額：対象経費×2/3以内(50万円上限1万円単位)男女共同参画社会づくりの普及・啓発活動は対象経費全額(10万円上限1万円単位) ●問合せ先：公益信託しまね女性ファンド事務局 TEL:0854-84-5514 FAX:0854-84-5589 https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4171
 <h2>令和元年度 「新たな支え合いファンド助成」</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月17日(金)必着 ■対象：地域住民が主体となり生活支援サービスを提供する団体(市町村社協から、サービス実施団体への間接助成可能) ■対象事業：(1)サービス団体立ち上げ支援(2)サービス団体移行支援(3)生活支援サービス開発 ■助成金額：市社会福祉協議会:400万円上限 町村社会福祉協議会:200万円上限 ●問合せ先：(社福)島根県社会福祉協議会 地域福祉部担当：景山 TEL:0852-32-5997 FAX:0852-32-5982 https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4173 	 <h2>2020 年度 JL 奨学生募集</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月31日(金) ■対象：日本国内の中学校に在学し、2020年3月卒業見込みの者で向上心があるが経済上の理由(世帯年収400万円以内)により、奨学援護を希望する者。その他要件有 ■助成金額：高校における最短修業年限の3年間(36か月)を通じて、月額2万円を支給 ※他の奨学金制度との併用可能。返済義務なし ●問合せ先：(公財)公益推進協会 JL 奨学生 事務担当：高野 TEL:03-5425-4201 FAX:03-5405-1814 https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4157
 <h2>パイロットクラブ・チャレンジ助成金</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月31日(金)必着 ■対象：共生社会を目指して福祉向上に関わる活動実績が3年以上のボランティア団体 ■対象事業：地域社会に前向きの変化をもたらすことを使命とし、脳関連障がい者への支援に焦点を当てた活動をしているパイロットクラブに共鳴する活動にチャレンジする方々の活動 ■助成金額：60万円(1団体30万円上限)対象事業75%まで ●問合せ先：パイロットインターナショナル日本ディストリクト「パイロットクラブ・チャレンジ助成金」係 Eメール:pilot.international.japan@gmail.com https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4169 	 <h2>令和元年！園山俊二蘇る！ 100のアイデア大募集！</h2> <p>松江市出身の漫画家「園山俊二さん」が描いてこられた漫画や言葉を通じて園山俊二さんの「願いや想い」を様々な方法で全国へ届けたいとスタートした活動です。活動アイデアを全国から募集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■締切日：令和2年1月31日(金) ■応募：全国のどなたでもOK！アイデアのタイトル、簡単な説明(文や図)をハガキに記入の上ご応募ください。応募者全員に園山俊二ポストカードをプレゼント！ ●問合せ先：園山俊二の会 事務局(担当：山下) TEL:080-1050-0832 https://www.shimane-ikiiki.jp/events/4116

島根で 頑張る人

自然と共にある暮らしを つなぐ生き方

奥出雲町中村地区にある「囲炉裏サロン・田楽荘（だらくそう）」

建物の周りには木々が鬱蒼と生い茂り、入口には映画「となりのトトロ」を思わせる木のトンネルがある。そこを抜けると築300年超の古民家が現れる。

家主の白山さんご夫妻は、古民家を「できるだけ昔のまま」の状態に残し、一年中囲炉裏に火をくべ煮炊きをし、自然農法で米作りなどを行い生活。民泊や農業体験という形で、県内外から訪れる人の受け入れも行っている。

千葉県出身の洋光さんは、仕事で食と向き合う中で、「安全・安心で作り手の見える作物を食べてもらいたい＝自分で栽培したものを食べてもらいたい」と考えるようになり、自然農法や有機農法の勉強を始めるようになったという。

水と空気が良いところをさがし2005年に千葉県から島根県（松江市）へ移住。その後2012年に現在の奥出雲町に移り住んだ。

その地域ならではの衣食住を実践し、みんなに知って欲しいという思いがあったが、移住する際に

白山さんが注意したことは「ゆっくりとあせらず、周囲の方々に理解してもらう」ことだった。

まずは、「地域にお邪魔させてもらっている」という気持ちを持ち、人となりを見てもらい仲間として受け入れてもらうことを重要視した。

その中で自然農法、有機農法で旧来の農家の生活に近い暮らしをし、民泊のお客さんと一緒に農業を行い、収穫したものを中心にいただく暮らしを実践。その様子や、民泊のお客さんが生き生きとした表情で話す体験内容を、地域のみなさんが見聞きすることで、白山さんへの理解が深まり、民泊のお客さんに積極的に話しかけてくれたり、野菜や手料理の差し入れをしていただくなど、支えてもらっている。

民泊のお客さんの多くは移住を考慮しており、移住先の候補として奥出雲町を検討している。自然環境だけでなく、白山さんと地域の皆さんとの関係を見て奥出雲町への移住を決断される方も多いという。また、すぐに移住できなくても、農繁期に手伝いに来てくれる方も多く、彼らが奥出雲の魅力・田楽荘の魅力を各地へ発信してくれている。

田楽荘では民泊利用者へ「いらっしやいませ、ありがとうございます」ではなく「お帰りなさい、いってらっしやい」と声掛けをする。利用者も「ただいま」と帰ってくる。

ふるさと（奥出雲）の実家（田楽荘）へ帰る。単なる観光・交流ではなく、第二のふるさとづくりが行われている。（M）



だらくそう
囲炉裏サロン・田楽荘
白山洋光さん 里香さん

洋光さん 1972年千葉県生まれ
里香さん 1973年松江市生まれ
2005年千葉県で結婚し、同年松江市に移住。

2012年奥出雲町に移住。
しまね田舎ツーリズムの実践者として、オーガニックコットンの栽培や自然農法、有機農法を通じて、田楽荘を訪れる方々に田舎暮らしの衣食住を伝えている。囲炉裏を囲んだ料理体験は、昔ながらの生活を感じさせてくれるひと時。洋光さんは、木こりの技術もあり、まさに多業。

主な活動

- 2012年 奥出雲オーガニックコットンプロジェクト
- 2013年 しまね田舎ツーリズム実践者登録
- 2015年 島根県「しまねナイスパートナー」受賞



▲昔の生活の基本である囲炉裏

県内NPO情報 R1.10.31 現在

1	県内NPO法人数	全体	289
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		0
3	解散NPO法人数		0
4	しまね社会貢献基金登録団体数		62
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	46
		内レベル2	34

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

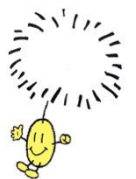
（しまね県民活動支援センター）

【松江事務局】

〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail : chiiki@teiju.or.jp

【石見事務局】

〒697-0034 浜田市相生町 1391-8 シティパルク
浜田 2階 石見産業支援センター「いわみぷらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail : iwami@teiju.or.jp



県民活動応援サイト Shimane IKIKI Hiroba

島根いきいき広場

<https://www.shimane-ikiki.jp/>



イベントの告知に！助成金情報の収集に！！「島根いきいき広場」
←メルマガ登録はこちらから！



Facebook も日々更新中！
しまね県民活動支援センター
（ふるさと島根定住財団）で
検索してみてください♪